

スポルテッドはなぜ手に入りづらいのか？

森林文化アカデミー 森と木のエンジニア科 林産業コース
水野 元貴

研究目的

私はスポルテッドのことが好きなのですが
なかなかスポルテッド材が手に入らない！

そこで…なぜスポルテッドは希少なのか？

を突き詰めたいと思ったからです

スポルテッドとは？

スポルテッドとは、木材が菌類に侵食されることで、墨で描いたような黒い線や複雑な色の変化が生じた、独特な模様を持つ木材のこと
主にエレキギターのボディ材や木軸ペンや食器等の小物に多く使われる



どこで手に入るのか

現在スポルテッド入手する方法は
木工作品 **木材問屋** **市場** **インターネット**
の三つがあります

有限会社 野原工芸（木工所）
材の入手経路としては主に友人、
知人から譲り受けたり購入したり
市場で手に入れることもあるとのことです



岐阜銘木合同組合（市場）

日本全国から集まつくるがスポルテッド自体は
全く入ってこない
主に山からではなく土場から出てくる
腐れ材や朽木として木材欠点という形で避けられている
傾向がみられる（売れ残る）
主に木工作家が買っていく



インターネットなど…

メルカリや一部銘木店で販売しているところあり、
主に端材としてだが一枚板での販売もある



人工的につくれるのか

1. 企業の試み

素材生産業者

スポルテッドがあっても
チップになってしまふため
手に入れることが難しい

木材問屋

自然の気まぐれでなので
人工的に制御して作るのは難しい
いろいろな方法で試しているが成功する
ことが少ないため
人工的には難しい

2. シイタケのほだぎ

今回スポルテッドを作成するにあたって、身近にあるもので
再現できるのか？

とのことでシイタケのほだぎから生み出せるのか挑戦をした

経緯

身近な腐朽材であること

腐朽菌の種類が明確

人工的な腐朽を行っていること

管理の履歴が確認できる

方法

ほだぎ（1～4年）を製材機で三枚に切り
その断面に発生しているかどうかを確認する



結果



4年目のほだぎに確認できたが腐りきっており
材に加工することが難しかった

考察

シイタケ単体では入らないことが分かった
ほかの菌が入って初めて発生が確認された

4年目まで行ってしまうと木が朽ちてしまい材にするのが難しくなった



発生するのに2種類以上の菌が必要であるのでは？

まとめ

スポルテッドは現状流通量が少ない
人工的に生み出すのは難しい
つまり…

材木屋が頑張っても量を増やすことはできない…

造林業者にもこのスポルテッドの
魅力をつたえれば手に入りやすくなる？

謝辞

ご協力いただいた企業の皆様ありがとうございました！

岐阜県立加茂農林高校
有限会社野原工芸
株式会社柳木材

岐阜県銘木協同組合
株式会社丸光イトウ
株式会社桜井銘木店